

ホップ♪ステップ♪のとがわ

能登川地区まちづくり協議会



釣ったブラックバスを天ぷらにして試食

びわ湖外来魚駆除釣り大会 (主催：豊かな湖づくり推進委員会)

同時開催で アウトドア体験 魚つり大会 (主催：能登川地区子ども会指導者連絡協議会)

5月30日(日) 能登川水車とカヌーランド

参加者は約250名。

ブルーギル483尾、ブラックバス1尾、
合計約8.5kgを釣り上げました。



第1回 自主防災活動リーダー研修会
(公開講座)

6月10日(木) やわらぎホール

参加者 約160名



ホタルの乱舞

愛宕神社(能登川町)周辺

No. 20

新設しました クローバークラブ



能登川南子どもの家（あおぞらクラブ）に通う子どもの人数増加により2010年4月より2学童に分割。新たに『クローバークラブ』が誕生しました。

現在は、能登川駅前地区土地区画整理事業の仮設店舗（本町地区）の一室を使用して運営していますが、11月頃には、新しい施設が完成予定です。

ちびっこギャング集団と声が大きくなりがちな指導員が放課後の時間を過ごしています。

★子どもたちにサッカー・工作など教えていただけるボランティア募集中（連絡先 Tel080-3865-3587）



今日は静か・・・



実験中!!

ご存じですか？ クリエイトプラザ東近江

能登川病院の中にあるレストラン「グランママ」（障がい者の支援事業所クリエートプラザ東近江の事業協力店）では、能登川の風物詩である、水車（れんこん）・能登川太鼓（たまご）・よし（あげ）・安土城（赤菟蓼）をトッピングした「能登川うどん」（漬け物付き）なるものを提供しております。一度おためしあれ。



レストランのスペースを使って、手作り品の代理販売なども行っています。なごみや病院の帰りにお立ち寄りください。

お知らせ

クリエートプラザ東近江

夏祭り!

■日時：7月28日(水) 18時～

模擬店

■会場：やわらぎホール周辺

バザー など



みなさまのお越しをお待ちしております。

能登川フォト&スケッチコンテスト 表彰式



6月30日(水)、東近江市情報発信基地「道しるべ」において、能登川商工会女性部いきいき事業研究会主催の「能登川フォト&スケッチコンテスト」の表彰式を行いました。

＜審査結果＞

■フォトの部（26点応募）

特選「夕映えの水車」

中嶋博幸様

優秀「手筒花火」

南部輝子様

佳作「内湖の朝」

石井勝男様

■スケッチの部（1点応募）

優秀「水車の見える道から」奥村美智子様

認知症と

みんなで闘おう

第7話 深刻な老々介護の現実



最近の家族構成は、子どもさんがおられても老夫婦でお住まいの方が増えています。75歳を過ぎる頃から夫婦ともども身体的な老化が急激に進む傾向にあります。それまでは連れ立って旅行や子どもたちのところに出向くことが楽しかったこととすら億劫になつて社会とのつながりも薄れてゆきます。

そうした頃から夫婦どちらかに変化が生じ、お互いに助け合つて生きてゆくことができなくなり、配偶者間の老々介護が始まります。

夫だから、妻のことだからという長年連れ添ってきたという思いから「自分が守らなければ」として「子どもたちに心配をかけたくない」という思いと相まって子どもや周囲の人に「生活状況判断」が甘く伝えられている傾向が見受けられます。

特に夫が介護者の場合、今まで妻が担当してきたすべてのことを一挙にしなければならぬことになるストレスや、自分のことを二の次にするため、病状の進行などで入院、突然死されるなど、周囲も亡くなつてはじめてその介護状況の深刻さを知らされます。

認知症は早期ほど介護者の精神的負担は大きく「病気のものを受け入たくない」という思いと「病状進行を認めなければならぬ」という現実との闘いが絶え間なく起こりますが、病気を受け入れてはじめて病状を客観的に見ながら「適切な介護」がはじまり、病状の進行を遅らせ介護者のストレスも軽減されます。

介護の大変さを理解し、和らげる周囲のサポートなくしては、老々介護は共倒れを招きます。

近江水の宝に 「水辺の集落 伊庭」が選ばれました!

伊庭 近江水の宝見学会



大濱神社仁王堂

琵琶湖とその周辺の水に関する文化資産を滋賀県独自の特性ある資産として位置づけ、特に優れたものを滋賀県教育委員会が「近江水の宝」に選定しています。

21年度に「伊庭」が選ばれました。

これらの「近江水の宝」を深く知ってもらうため、県教育委員会主催の見学会が5月19日に伊庭町で開催されました(写真)。また、8月28日にも見学会が予定されています。

■「近江水の宝」の詳細は滋賀県教育委員会文化財保護課のホームページ
<http://www.pref.shiga.jp/edu/sogo/kakuka/ma07/index.html> をご覧ください。



手芸サークル

つくしんぼクラブ

毎週水曜日の午前中に、乳幼児のお母さんや孫を連れたおばあちゃんが「つくし児童館」に集まって、ワイワイ楽しく仲良く活動をしています。



おしゃべり大好きメンバー
ご興味のある方は、どなたでもお気軽につくし児童館へ遊びに来てください!

■問合せ先
つくし児童館
(佐野町・能登川第一幼稚園東隣り)
TEL 0748-42-6422
IP 050-5801-6422



「シュシュ」や「リボン」「カバン」「アイロンビーズ」などの作品

歴史点描 ①

市史編纂室だより

東近江市史

『能登川の歴史』発行準備中!

東近江市には、豊かな歴史環境があります。たとえば最近も、永源寺地区相谷熊原遺跡で1万3千年前の住居跡が見つかったことが、マスコミで大きく取り上げられました。

市内では唯一琵琶湖に面する能登川地区にも、古くから水の恵みを受けた豊かな歴史があります。こんな能登川地区の歴史をまとめて本にする作業を、平成16年から続けています。この間、古文書調査やお祭の調査などでお世話になった方も多くいらっしゃいますが、まだまだその存在は知られていません。

そこで、まちづくり協議会をお願いをして、今後この活動を広報誌上で宣伝させていただくことになりました。調査中にわかった「キラッと光る新発見!」や「へえ〜と驚く新事実」などをご紹介します。今後の紙面にご期待ください!

なおこの仕事は、埋蔵文化財センター内の「市史編纂室」でおこなっています。ご質問や耳寄りな情報があれば、ぜひともご連絡ください。

電話: 050-5801-5011 または 0748-42-5031



▲ 古文書調査の様子 (能登川博物館)

更生保護女性会能登川分区より

ミニ集会のお知らせ

* 8月18日(水) 13:30 ~

(会場) 東近江市能登川図書館集会ホール

(講師) 東近江少年センター指導員 おむら 小村 隆 先生

* 9月15日(水) 13:30 ~

(会場) 福祉センターなごみ集会室

(講師) 聖徳中学校校長 辰巳三喜雄 先生

■問合せ先 小松安希子 (Tel 0748-42-0021)

能登川地区まちづくり協議会 平成22年度 総会を開催

5月22日(土)、やわらぎホールにおいて、能登川地区まちづくり協議会平成22年度総会が開催されました。参加者は65名。平成21年度 事業報告と決算報告、役員の一部変更、まちづくり計画書の承認、平成22年度事業計画と予算計画について審議がおこなわれ、いずれも賛成多数で承認されました。「21年度、22年度の予算、決算」および「役員の一部変更」の概要は、表のとおりです。

22年度予算の特色は、従来の市からの補助金が半額となり、代わりに新規事業に対して補助金が出るようになったことです。今後、自主財源の確保に向けた取り組みが求められています。

当まち協から補助金を申請したのは、次の6事業（申請総額1,147千円。決定総額860千円）です。

- ①自主防災研修：自主防災活動のリーダー育成を目的とした研修会を開催する。
- ②散歩道看板設置：各自治会の宝物を紹介する看板を建て、これをテーマごとにつないで散歩道を作る。
- ③防災啓発かまどベンチ：災害発生時には炊き出し用かまどとして使えるベンチを設置し、防災意識を啓発する。
- ④声のふるさと散歩道：子どもたちが地域のお年寄りから昔話を聴きだす。これをラジオで放送する。
- ⑤廃食油回収：能登川地区内に廃食油回収のモデル地区を5か所つくる。
- ⑥エコまつり：子どもから大人までエコへの関心を高めてもらうことを目的に、「エコまつり」を開催する。

21年度、22年度 一般会計

単位：千円

収支	項 目	21年度 予算額	21年度 決算額	22年度 予算額
収入	市交付金	5,710	5,710	2,850
	市補助金	—	—	1,147
	宝くじ助成金	2,400	2,400	—
	共同募金助成金	—	—	200
	基金取崩	—	—	1,900
	その他	626	315	110
	合 計	8,736	8,425	6,207
支出	人件費、事務費等	2,916	2,972	3,165
	事業費	1,770	540	1,942
	備品購入費	2,850	2,883	200
	広報費	1,200	906	900
	合 計	8,736	7,301	6,207
差引残高		0	1,124	0

* 21年度決算の「差引残高」額（1,124千円）は、基金に積み立てる。
* 22年度予算の「市補助金」額（1,147千円）は、総会時点の申請額であり、その後（6月2日）市より860千円の決定額通知がありました。

会長就任のごあいさつ

平成22年度能登川地区まちづくり協議会総会におきまして、藤野智誠前会長より会長職を継がせていただきました藤居正博です。



まちづくり協議会はすでに、多くの実績を挙げ、市民活動として根を張りつつある段階ですが、東近江市は様々な情勢ならびに合併に伴う課題によりまだまだ、生みの苦しみを早急に改善すべき段階にあると思われます。

東近江市行政ならびに東近江市民共通の目的達成とか課題解決のため 能登川まちづくり協議会が少しでもお役に立てる活動に尽力して参りたいと会長をお引き受けいたしました。

皆様の叱咤激励をお待ちしております。

平成22年5月

藤 居 正 博



総会の様子

21年度、22年度 基金会計

単位：千円

項 目	21年度 予算額	21年度 決算額	22年度 予算額
期首積立額	6,180	6,180	7,316
年間積立額 (利子、一般会計残高)	+15	+1,136	+10
年間取崩額	0	0	-1,900
期末積立額	6,195	7,316	5,426

役員の一部変更

役職名	21年度	22年度
会 長	藤野 智誠	藤居 正博
副会長	藤居 正博	(欠 員)
	四方 秀亮	四方 秀亮
	浅井 利温	浅井 利温